

一話一言

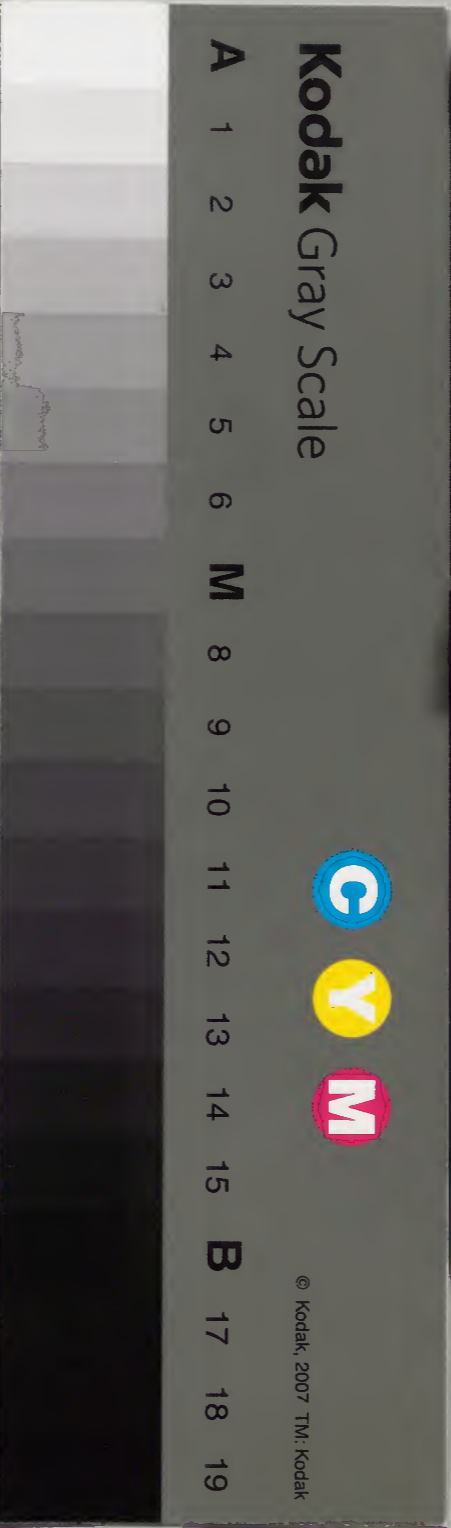
四十八上
下

大政官文庫			
		一	和
		一四	書
		九	門
八	一	八	
〇	三	〇	
冊	架	函	號

内閣文庫			
		一	和
		一四	書
		九	類
二	一	八	
二	一	〇	
函	冊	架	號

内閣文庫		
番號	和	11498
冊數	80 (62)	
函號	212	275

内一三七八文庫





一話一言卷之四十八上又

目錄

雲茶店古物會社

月 二集

南市合眾

自寛政八年辰
至享和元年

早のり
茅肚和物生学

雨敷东土市生学

直孫正翁瓊浦愛璣 抄書

写士山本門寺等抄書

正徳二年日記抄

内一三七八五號



文化 辛未 四月 二日
五月 二日

雲茶會 初集

雲茶集序



茶店ハ大成殿の裏韓田の神社にありて茶ハ
雲御^イ早下をれ^イ花ガハ茶の水もすをれ^イて
月^イ想^イの二りを約して^イて^イけ^イラ^イ年^イあ^イう^イの
畫^イ器^イを^イら^イつ^イめ^イ中^イを^イの^イ不^イ嫌^イと^イん^イの^イつ^イく
る^イ人^イの^イ多^イ此^イ注^イは^イら^イう^イき^イま^イ店^イの^イ細^イ多^イも^イも^イ多^イ種^イの^イ本
此^イむ^イき^イの^イ午^イ節^イわ^イれ^イく^イ湯^イ修^イま^イけ^イ松^イ竹^イ梅^イ三^イの^イ
塔^イと^イま^イき^イと^イあ^イる^イ不^イ行^イ傘^イ谷^イに^イ晴^イ向^イも^イい^イん^イ苗^イ本^イ山^イの^イ
志^イけ^イり^イも^イ陰^イの^イ茶^イを^イま^イ川^イも^イの^イあ^イり^イ
ふ^イ化^イと^イき^イと^イ申^イ原^イ磨^イし^イハ^イち^イき^イを^イふ^イれ^イと^イ一^イ月^イ
の^イも^イと^イえ^イ遠^イ橋^イ山^イ人^イ堂^イ名^イの^イサ^イレ^イと^イん

丙 一 二 七 六 八

雲茶會 客品

- 一 慶長の尺継糸小袖のきれ
- 一 丹繪ニ枚 竹めきや 多色信伝也
- 一 古彩多川文牛石伎付ららのきりふ
- 一 元禄の尺継糸
- 一 元禄板両夜三疊板垣 二冊

海菜園可花

依る本万花

寛永中

一 古烟笈

元禄中

一 曲鋪板牌

一 青楼 シナマ カニハシ 壺

一 五川長巻白魚白像 一 軸

一 戸田氏法平之文信源一之行

老標菴主

所花

一生信少子氏體文

丁錦出

一山村在極東入用古存 少印之

口之出

一表代古所也 「宋字不名」 年季體文

一古鏡

一古傳又年画等

反古傳

可花

一太名因花助手繪

一物附の扱らるる入

一宝永元祿伝右付花札

一享保古系細見

元祿四七士の多き付言時代あり

五川所傳様

可花

一乃伝子尾自毛延等

揚公より傳ニ法ニ子尾
うら雲

一延宝年間より系の因

菱川師宣筆

一新伝五圃作美少年人形

以上

山東卷所花

一 慶長年中分淨福屋交統行多口宣之字 二冊

一 四條河原 名代付 正徳三年改 三冊

一 那部立竹 弘政 貞享三年 三冊

一 志々丸のせうふ 一二巻綱 一冊

一 中村慶子菊画幅

杏花園所蔵

一 日清流水 唐館商人之七の状

一 近衛殿下天神像

一 大坂落博図

青山市西花

一 元禄室水のり記

一 昔戸院の余帳の童謡 引去り去る左山入

享保中五百石後建五郎分
明和元申年抄の核又宗帳所蔵の付

一 貞享中伊豆山中麻笛

一 花しりさき歌

一 志々丸 芳月本 奥村文角政信

以上

紀束所蔵

全品

一 志々丸 菊子巻

- 一 宝永四年春 元禄三十二年 湯江 英三年 賀
- 一 傾城 けり物
- 一 吹雪 三丁 夜花 供云
- 一 人形 けり物 中 夜抄 けり物

雪茶店 互

量山 所産

杏花園 主人

當日 品類の中 抄書 目録

- 一 山村 長之 氏 甚 故 極 成 入 月 重 行
- 一 大名 温 化 盆 吾 一 式 口 にお せ 付
- 一 浮 万 里 掇 たら 後 和 人 形 の 中
- 一 宝 永 四 年 一 来 あり 大 の 為 けり 付

- 一 宝永六年 七月十五日 所書 けり
- 一 享保七年 寅 卯 辰 仲 ら 連 列 帳
- 一 元禄七年 寅 卯 辰 夜 抄 けり けり 盆 簡 板
- 一 大和 繪 師 東 川 吉 屋 風
- 一 宮川 七 春
- 一 夕夜 三 盃 機 軸
- 一 多川 柏 延 あり 林 抄 言 の けり
- 一 大石 氏 抄 けり
- 一 雛 盆 五 圃 可 化 美 少年 像 口 にお せ 付

糸月三

山形多平御衣

反古流籠

山村南三三老

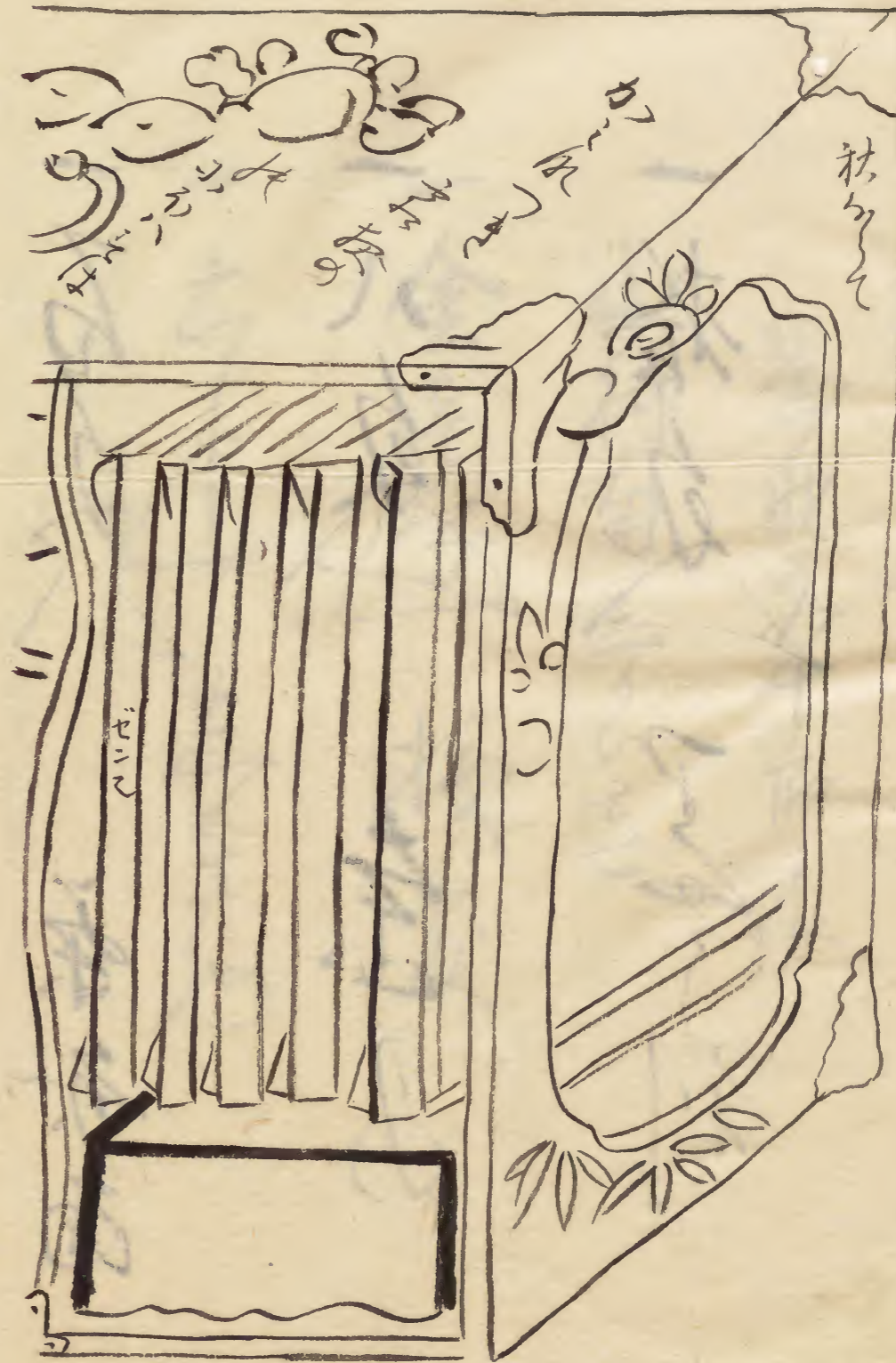
一金老后 梅友

一之平 志き物

一百文 糸每箇

一八文 糸の

一拾文 了平利

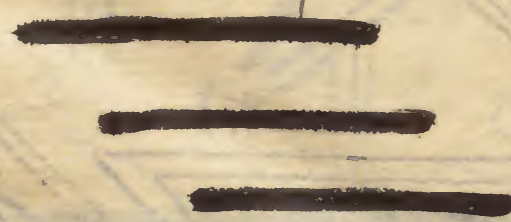


秋の
大名温飢盒卷

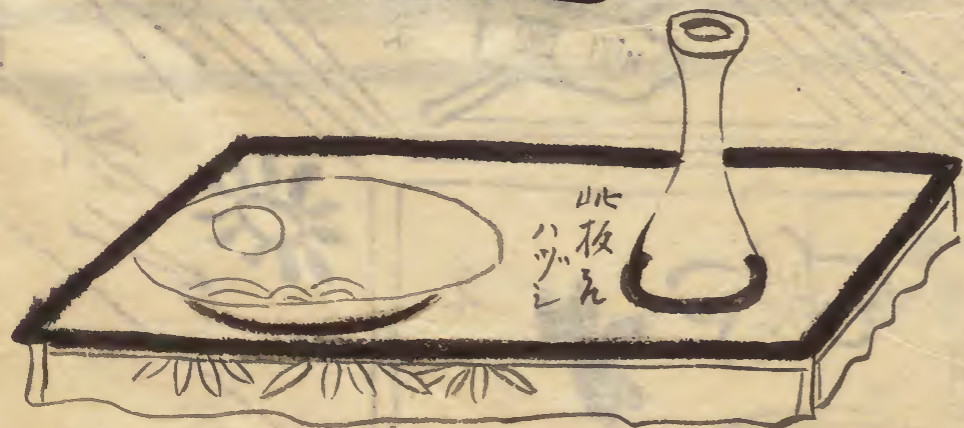
青山寺所蔵



此箱存
画筒箱
内ニイル



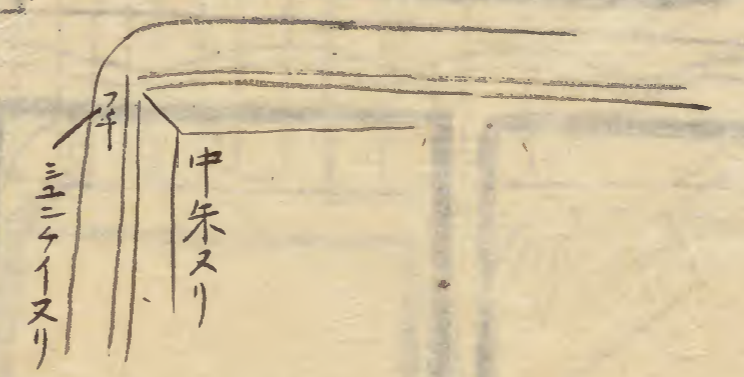
箱ノ底漏
空アリ



此板
ハツ
ハツ

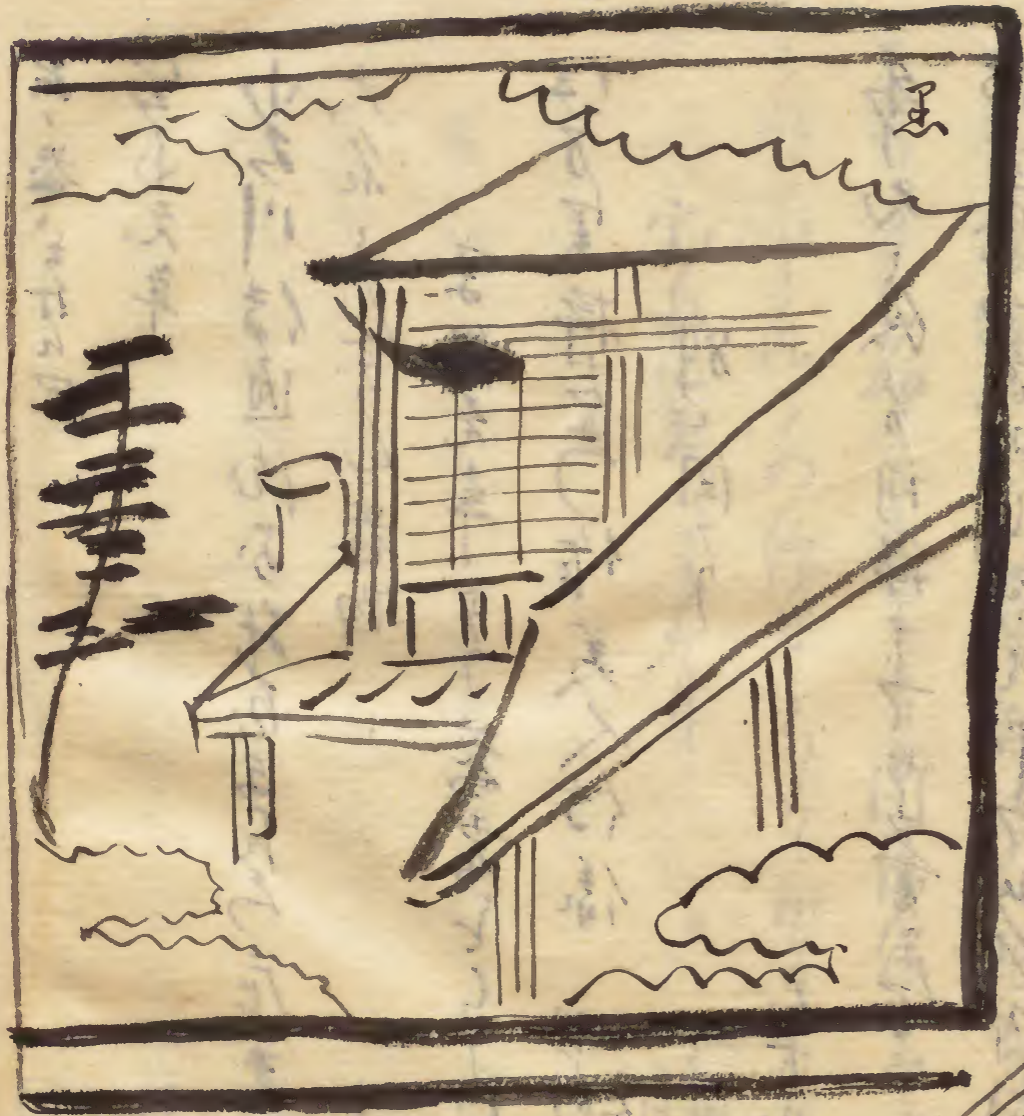


君
ため
春
秋



中朱スリ

三ツイヌリ



巻之五什々写

宝永元年

一 小石川傳通法外此公其長ら店本傳法在長
大名よりし菴物

享保元年より菴物とあり

一 伊万里掎古舟作美人傳像

堀神打舟作像
下元菊

別之圖あり

古青山堂所花

事より後有詞紙上にて是書に字

一 傳通法つ所所し若きし此法所内、事より大津
外多し其らありかきありは其抄を新し者より此

之者、不之我、し付通ふ者、其進ふ、し之、抄文、
て是、通通、し、み、新、し、者、法、人、誰、多、法、自、心、修、観、
又、法、多、く、し、り、し、者、新、法、法、上、て、以、是、懸、つ、抄、
其、市、所、の、所、付、あり、新、可、多、し、也

宝永元年

傳通法つ所
目録は、市所古舟

市所古舟

伊多系

三多系

我多系

上多系

市所古舟

寛永六年二月十日

大御之御定意之御事

一 小丸御事停止之事

一 飯田所之通り之事御事

一 五原之父子西丸御事御事 上之御事御事 對面之

波通御事

一 對面之御事西丸御事御事 上之御事御事

一 飯田所之御事御事御事 上之御事御事

一 上之御事御事御事御事 上之御事御事

御事御事御事

一 上之御事御事御事御事 上之御事御事

一 上之御事御事御事御事 上之御事御事

一 上之御事御事御事御事 上之御事御事

御事御事御事

一 上之御事御事御事御事 上之御事御事

御事御事御事

一 上之御事御事御事御事 上之御事御事

一 上之御事御事御事御事 上之御事御事

一 上之御事御事御事御事 上之御事御事

一 上之御事御事御事御事 上之御事御事

一 上之御事御事御事御事 上之御事御事

一 上之御事御事御事御事 上之御事御事

元禄五年

未九月廿

幸以六所自

質を

月乃持元

質を

役不徳

質をノ

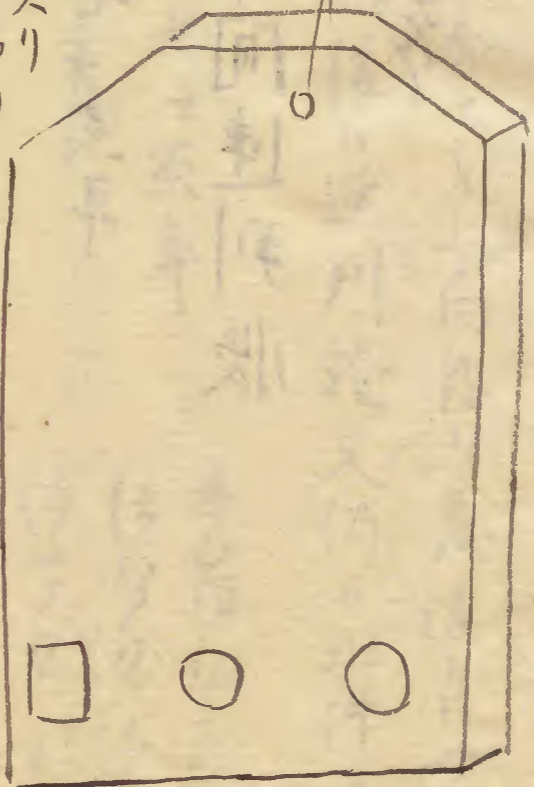
軒ニ

カケル

簡板

此孔西面ニ別ニ

墨スアリ



一美人圖

大和繪師東川孝里風圖之

喜山草花

一寛保ニ正月元旦

宮川長春之絵一歳自像自画

老樗菴花

一雨夜三盃搦廻ニ巻

若樗菴花

序みの中ニ

実や水に一盃搦廻一盃白河一盃け之水と呑ぬ人此

ちりぬしと^{スチ}〜と云ふく〜と云ふ〜と云ふ〜と云ふ

取の三盃搦廻名付侍人ト

于時元禄乙亥水ノ日漫筆於此河川院

此書文政三年三月春收於此河川院文庫中 巳申 若樗菴 之

甲子年中書七十一

木笛菴

瘦牛 □

一多川栢定多々和の能言と一付大名歌と云々

いりやそれ定より名をかきつるに力あり

以仲う撰

右花梯子可修

一大石氏陰 多石氏今川様より包み入所抄後法橋馬了斐

故後中候の義臣後継忠送巻と

ね

恙の強くしぬいなきを鏡くわきりおハ何と云々

〇 筋は多々城之法律氏家臣

此等今更

浮陳更の上

一巻入圖

雛屋立圃所造偶人

山菓子花



大人形と包こん
古色状



徳也

昔戸隠の園帳之童謡并

享保中喜百羅漢建立之節流石俚歌

紀末

さしと深川戸加戸 宗帳みこの評判はよきなり
まじりやちあおく せんをぞはるいさいるア

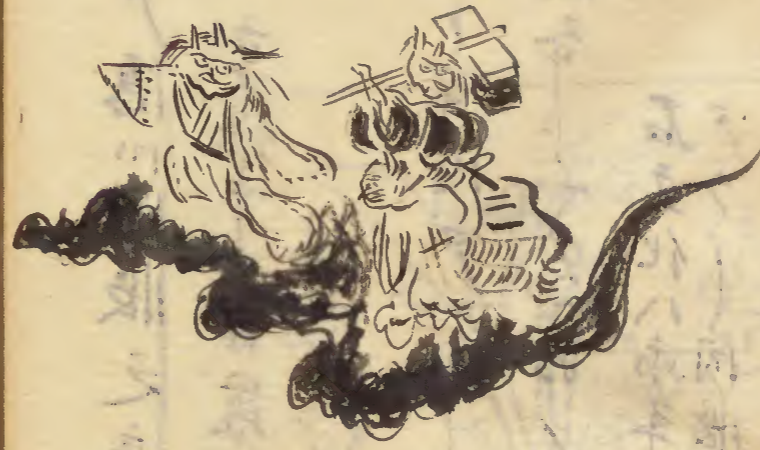
右文化八末年之七十五歳翁十五歳翁の附
戸隠し園帳有くちるる事し一奇也

引書 繪本 四天王大臣公入 本巻

五百ら如しの志つぬいちや志あくらん夜あーやう
のどくくやう志の本れあうさうはるまらくしを
ハあんるし目そふんはしんきりしんちやの

本とらうはいんまやえんまやちりりきりなむ
 ありさうふくふむちりりきり大なりりりんさ
 ん志んせませま

是ハ本行の江戸番目と和川信家一昨年
 子共の著録舟馬年の節三つとあり三つとあり



りさうやう

りさうやう

りさうやう

りさうやう

修平 冥主大江山入 米屋本

おののちやうりりりりりり

りさうやう

りさうやう

紀末

文化年未仲夏初二

雲茶集會 二集

青山寺

一 洞品 禅余七里溪編 江戸日る暗 長谷山歌 大悟

一 太閤 豊長公千より 瓢箪 二鈴

一 街 上院 角力とて 附 院 雲解 一冊 一葉

一 百万 高尾 所打 毫菱の櫛 一枚

一 宮平 致花 永復書 一巻

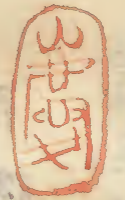
尚志堂

一 宮水 の以 牌定 一巻

一 古田茶書設年序繪

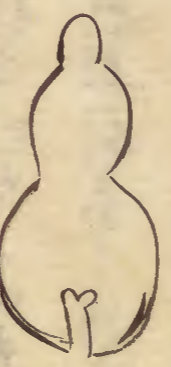
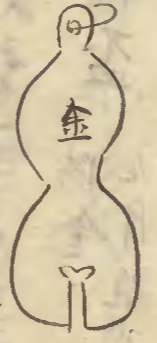
古田茶書設年序繪 所 下徳ハ備不効ノ標致ニ表ス 得史化者買方人

此年古後ノ弟及子ニ表致を彩江之ヨリとの
中ニ作者吳増左トあり



華人所記 中華陳設鋪印材本

大園千少ノ紙第ニ了



金箱也甚之
中ニ石アリ鈴ノ如シ

宮本武藏書卷

門外講
經說法

兵法地理之大事

方圓分度之規矩

圓者周旋而有定

方者大定而合周旋

大園分度

前後南針

上下懸線

遠近準繩

險易水平

小圓分度

地平南北正

十二支官線

官本武藏

永視

為

元和二丙辰年
春三月十六日

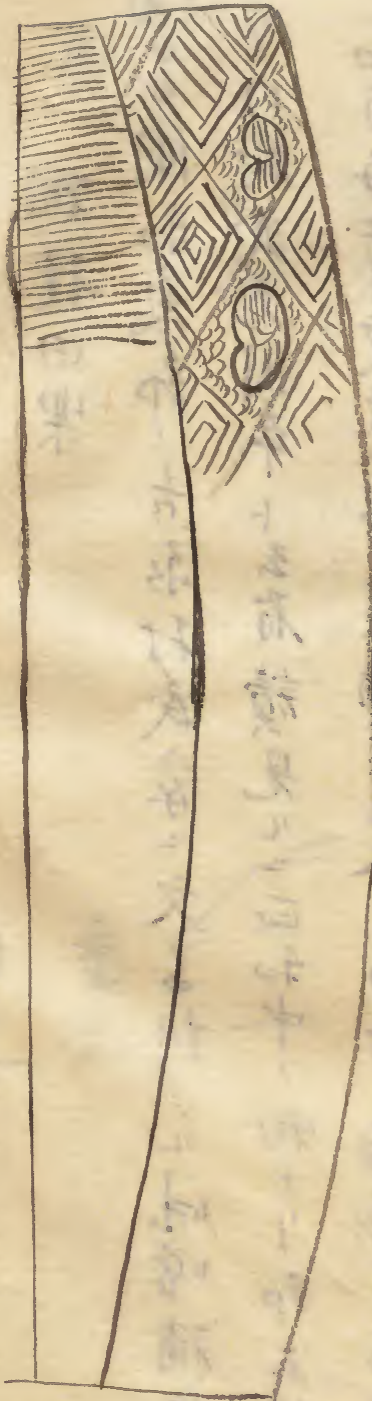
松平伊織殿

永視

字

萬治高尾梯

青山堂所卷



龍菱ノ符後之

曳尾菴所藏

相撲田樂

傳本相撲田樂部吉永村氏家ニ文字刻タル味噌桶蓋
アリ口村武元因平ト云者讀見ルニ西和中ノ物ナリ即石榻
ナニ四方好古ノ愛玩ニ供ス其桶ノ蓋今ハ口村喜右衛門家ノ宝庫
ニ在ル

吉永保

江進大明神九日相撲田樂事

一 相撲行

一 番 重行 子宗

二 番

左 成遠
右 武久
次 國
子 克

三 番

常久 成友

四 番

克友 克行

四 番

道(同) 時茂

五 番

則次 延貞

七 番

岡道 末長

八 番

負則 足(同)

九 番

赤利 石元

十 番

利永 久之
重剛

一 行 流馬分

一 二 一

一 番

重元

二 番

同 丸

三当

西和四年九月十日

但仕自昔注文

成村

光茂

春風

海西子休甫戲筆

堪畫處恰如楊柳靡
玉章舒卷濃柔質天

纏取結紫碧雲袖手執

休甫八景別塚ノ人俳諧師之自徳ト叶を曰一々ノ季吟
法原ノ山ノ井ニ其ノヲ多ク載又其台此繪ハ寛永正保の
比ノモノ之画者詳ナラストイヘトモ之又袖紫是袋ノ古風ヲ
ミルニタレリ
解く秘戯

游繪香合考

梅ノ是寛永時代の游繪之流北修寺付或ハ松ヶ谷寺の歌
目踊のあふて一肩よりけたるはときのみきハ丹前寺よりあ
ねの葉一の光三信を^{カニ}親の歌く系々ハ一系

とくハ此之これハ始々也子終とにうり付の歌をれハ
寛永の竹やとあふり
山東菴

定永の竹代くわさき

山東菴



京山人
夢坐
同走
筆不
二也

夕エキアリ
神意ニカハ
若カク

新撰御むりるごころ序

瓢巾子

京師之
瓢巾子に
後開る意
ノ号シ

昔ハ異國の婦人ニカキ獸の肉と喰ハ毛と云ハ
了矣帝初ク蚕と云ハ衣と作ルハ後の人
多ク衣收此立アリ奉給ハ天也ト云ル此ハ女
祇日也云伴合命ハ蚕と云ハしと御ク齋服
此ハ之の御の御と織物ハ云ハ意非ト云
此ハ字に異國ト云ハ是後ハ織物ハ云ハ織物ト云
云ハ御ハ云ハ云ハ奉給云ハ織物ト云ハ云
其後其後ハ云ハ藤園ト云ハ云ハ拍子ト云
云ハ續ク續ク皆異國ト云ハ御ハ後云ハ續ク
云ハ備ハ長入云ハ云ハ御ハ云ハ云ハ云ハ云ハ

文化三年

歳三好所

乙亥三月廿

宗三少

右ノ右後南十月廿二日ノ振与中付以海世先ノ上命ハ荷在
色前々々其細ハ名家ノ不存先ノ人故能合其後付与
妻ハ移与付送了押伏下是ハ何物也其下ハ何物也
ハ之ハ何物也即其下ハ何物也其下ハ何物也
近一其知合其後力と接切抄了以逆也其下ハ何物也
以上ハ其年方也其下ハ何物也其下ハ何物也
ハ其下ハ何物也其下ハ何物也其下ハ何物也

寛政八年

西井新樂氏臣怪

河内史

吉田又所

石之字

一振ノ右中付及下付ノ味

右ノ右後南又次其意其後ノ神宮公利其下付
拉女其下付其下付其下付其下付其下付其下付
以是一向其放了了以是一向其放了了以是一向其放了了
其下付其下付其下付其下付其下付其下付其下付其下付
包其下付其下付其下付其下付其下付其下付其下付其下付
四月其下付其下付其下付其下付其下付其下付其下付其下付
其下付其下付其下付其下付其下付其下付其下付其下付

